

第24回 高校生による海外エネルギー事情研修会 実施報告書



平成30年2月28日
青森県商工会議所連合会

1. 研修参加者

〔高校2年生 6名〕

青森県立田名部高等学校

岩崎 然



青森県立五所川原農林高等学校

原田 楓太



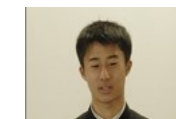
青森県立八戸高等学校

畑内 紀龍



青森県立十和田工業高等学校

白山 祐基



青森県立五所川原高等学校

其田 優



青森県立鶴田高等学校

加賀谷 優花



2. 本研修の目的

◆欧州2ヶ国のエネルギー事情を学び、資源に乏しい日本の将来のエネルギーはどうあるべきなのか、その中で青森県はどんな役割を果たすのが望ましいかということを自分自身で考える

◆様々な視点で物事を見つめることや、海外の異文化に触れることで、自分自身の「成長」につなげる

◎発表や議論の場を通じて、「自分の意見を述べる力」を身につける

□エネルギー施設の視察(日本、フランス、スウェーデン)

□フランス・スウェーデン 両国の高校生との交流

○英語による自己紹介

○日本についての説明(文化・生活など)

○エネルギー問題に関するプレゼンテーション&ディスカッション

○その他文化交流、食事会など

□フランス・スウェーデン両国の文化(歴史、食、習慣など)に触れる

□多くの人たち(生徒、引率者)とのコミュニケーション

3. 全体スケジュール

- (1)募集案内 8月18日 県内全高校に案内文書発送
 9月21日 募集締切 29校40名応募
- (2)当選通知 10月11日 当選通知文書発送
- (3)事前研修会① 11月5日～6日(むつ市他)
 東北電力(株)東通原子力発電所、
 日本原燃(株)原子燃料サイクル施設他を見学
- (4)事前研修会② 1月7日～8日(青森市)
- (5)海外研修 1月29日～2月9日(12日間)
- (6)青森県知事報告会および座談会 2月28日

4. 海外研修日程(1)

	月日	行 程	実 施 事 項
1	1/29 (月)	青森県内各地⇒東京駅 ⇒東京(泊)	●新幹線で東京へ移動 ●スウェーデン、フランス両大使館を表敬訪問
2	1/30 (火)	羽田⇒パリ⇒カーン(泊)	●飛行機でフランスへ移動 ●到着後、バスにて移動
3	1/31 (水)	カーン⇒モン・サン・ミッシェル ⇒シェルブール(泊)	●世界遺産「モン・サン・ミッシェル」見学
4	2/1 (木)	シェルブール⇒ラ・アーグ ⇒シェルブール(泊)	●オラノ社「ラ・アーグ再処理施設」見学
5	2/2 (金)	シェルブール(泊)	●グリニャール高校生徒との交流会・夕食会
6	2/3 (土)	シェルブール⇒パリ(泊)	●バスでパリへ移動 ●ルーブル美術館見学 ●前半の成果と反省を振り返り
7	2/4 (日)	パリ⇒ストックホルム(泊)	●パリ市内見学 ●飛行機でスウェーデンへ移動

4. 海外研修日程(2)

	月日	行 程	実 施 事 項
8	2/5 (月)	ストックホルム⇒ウプサラ(泊)	●環境モデル都市「ロイヤルシーポート」見学 ●ストックホルム市内見学(市庁舎他)
9	2/6 (火)	ウプサラ⇒エストハンマル ⇒ウプサラ(泊)	●フォルシュマルク原子力発電所と フォルシュマルク中・低レベル放射性廃棄物 貯蔵施設見学 ●カテドラル高校生徒との夕食会
10	2/7 (水)	ウプサラ(泊)	●カテドラル高校生徒との交流会
11	2/8 (木)	ウプサラ⇒ストックホルム ⇒(機内泊)	●カテドラル高校生徒の案内でウプサラ市内 見学 ●飛行機で帰国の途へ
12	2/9 (金)	⇒羽田⇒東京駅⇒青森県内各地	●羽田到着後、東京駅から新幹線で移動

5. 参加者の個人目標(1)

高校生6名は全員で相談し、研修期間中の全体目標(スローガン)として、
『僕らもエネルギーもベストミックス』を掲げ、
個人目標も設定して今回の海外研修会に臨みました。

岩崎然	エネルギー・原子力学習面	●交流を通じて、エネルギーについての知識や関心を高め、エネルギーの在り方について深く考える。
	現地高校生との交流面	●1人でも多くの人と会話を楽しみつつ、英語力とコミュニケーション力を高める。
	生活・文化面	●1つでも多く日本との違いや、日本では行なっていないことを見つけて、それが何の役に立つのか考えて自分を成長させる。
原田楓太	エネルギー・原子力学習面	●フランスとスウェーデンのエネルギー・原子力について理解し、日本のエネルギー・原子力にどのように利用、活用できるのかを学ぶ。
	現地高校生との交流面	●自己紹介やプレゼンテーションを終えた後でも、夕食や懇談会などで積極的に話しかけて仲良くなりたい。もし、可能であるなら連絡先の交換もしてみたい。
	生活・文化面	●フランスとスウェーデン、その地域での生活や文化を自分の目と耳で理解し、現地の人へ日本の生活・文化を伝えてみたい。

5. 参加者の個人目標(2)

畑内紀龍	エネルギー・原子力学習面	●いろいろな人や他国のエネルギーに対する考え方を知り、自分の考えを深める。
	現地高校生との交流面	●現地高校生との交流の中で相手に気を配りながらも楽しく会話をする心を心掛けたい。
	生活・文化面	●フランスとスウェーデンの風土と食文化に触れる中で、その関係性などがあるかという観点でも注目したい。
白山祐基	エネルギー・原子力学習面	●海外と日本のエネルギー関連施設について、それぞれの違う点を見つけて理解する。
	現地高校生との交流面	●自分から積極的に話しかけて語学の向上に努める。(10人以上)
	生活・文化面	●テーブルマナーを習得する。 ●長期間の滞在で、生活習慣を崩さず、毎日運動もする。 ●いろいろな物に興味を持ち視野を広げ知識を増やす。

5. 参加者の個人目標(3)

其田優	エネルギー・原子力学習面	<ul style="list-style-type: none">●世界のエネルギー事情についてよく学び、これからのことを考える。●原子力のメリット、デメリットを見つめ直し、どう向き合うべきかを知る。
	現地高校生との交流面	<ul style="list-style-type: none">●自分からどんどん話しかけて、積極的に交流する。●現地の高校生の暮らしや流行について知る。
	生活・文化面	<ul style="list-style-type: none">●食文化や習慣の違いを知る。●異文化を知ることで、日本の文化についても考える。
加賀谷優花	エネルギー・原子力学習面	<ul style="list-style-type: none">●日本人との意識の違いを見つけたい。
	現地高校生との交流面	<ul style="list-style-type: none">●同じ趣味の人を見つける。●積極的に話しかけ、コミュニケーション能力を高める。
	生活・文化面	<ul style="list-style-type: none">●日本とフランス、スウェーデンの文化にどのような違いがあるか、たくさん見つけたい。

6. 研修スナップ ①

◆平成29年11月5日～6日（第1回事前研修会）



写真①



写真②

写真①
・エネルギー事情学習会他

写真②
・六ヶ所原燃PRセンター視察

写真③
・東通原子力発電所視察



写真③

◆平成30年1月7日～8日（第2回事前研修会）



写真①



写真②

写真①
・プレゼン資料の事前発表会

写真②
・放射線基礎講座(実験他)

写真③
・前回参加者からアドバイス



写真③

◆平成30年1月29日（出国前日の大使館訪問）

＜スウェーデン大使館＞



＜フランス大使館＞



6. 研修スナップ ②

◆平成30年1月31日(「モン・サン・ミッシェル」見学)



◆平成30年2月1日(ラ・アーグ再処理施設見学)



◆平成30年2月2日(グリニャール高校 生徒との交流)



6. 研修スナップ ③

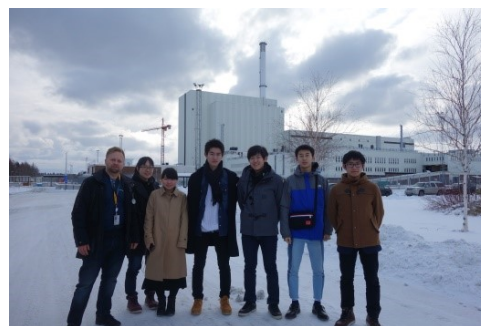
◆平成30年2月3日(パリ市内見学)



◆平成30年2月5日(ストックホルム市内見学)



◆平成30年2月6日(フォルシュマルク原子力発電所、中・低レベル放射性廃棄物貯蔵施設見学)



6. 研修スナツプ ④

◆平成30年2月7～8日(カテドラル高校 生徒との交流)

